

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

愛知県幡豆郡一色町 町長 都築



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県幡豆郡一色町

- 道路投資に対する効果が早期に発現できるよう、事業進捗のスピード感が重要である。
- その際に課題となるのが用地取得であり、この円滑な取得方策を検討すべきである。
- 効率化を徹底的に進める中であっても、災害時のリダンダンシーの確保や地方を切り捨てない道路整備を強く望む。
- 住宅、工業、農業などの将来計画に沿った道路の計画的建設。
- 全国の知事や市町村長などの地域の代表者や産業界の意見を重視し、必要な道路整備は引き続き進めていただきたい。
- コンパクトシティ街づくりへの支援策の充実を要望。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

愛知県幡豆郡一色町

○ 現状 通勤等の生活や物流面で重要な役割を果たす地域高規格道路とそれに接続する道路の整備が遅れている。	○ 課題 本町と町外を結ぶ道路の整備が必要です。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２地域の目指すべき将来像

愛知県幡豆郡一色町

- 利便性が高く、各地域の活力を引き出せるような都市間・産業（工業、農業、漁業）
地間の幹線道路のネットワークの整備。
（ EX 南北道路、名豊道路、名浜道路などの連絡 ）
- 幹線道路と生活道路の分離による利便性と安全性の向上。
- 人口減少社会でのコンパクトシティ実現のための市街地道路の利便性の向上。
（ 不便だから郊外にスプロールする ）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県幡豆郡一色町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	広域道路ネットワークの構築による工業用地へのアクセス道路整備	雇用の創出、若者の定住、通勤圏の拡大。	
良好な生活空間の形成	歩道設置による生活道路の整備及び狭あい道路の解消	住民の安全確保、快適性、利便性の向上	